

「健康長寿のまち」の実現に向けた高齢者の就労促進について－行政サービスの担い手としての高齢者－ 答申の概要

《諮問内容》

「健康長寿のまち」の実現を目指す中で、就労を希望する高齢者が生涯現役で働き活躍することができる環境整備が喫緊の課題。また、医療費や介護サービスなどの伸びなどを踏まえると、持続可能な行政サービスを担う人材の確保が今後の課題。 → 「人生 100 年時代」を見据え、潜在的な労働者である高齢者の就労促進－行政サービスの担い手としての高齢者－について諮問

《答申のポイント》

1. 背景と論点整理 答申書 p1～

少子高齢化の動向、「人生 100 年時代」を見据えたライフスタイルの変化、介護サービスなどにおける人材確保への対応、高齢者の就労ミスマッチの現状など踏まえ、**「行政サービスの担い手」に限定せず、民間企業を含めた市全体の高齢者の就労をどのように促進していくのか**という観点から、次の3つの論点を中心に議論。

- ① 民間企業を含めて高齢者の就労機会の拡大を図るためには、どのような視点から高齢者向けの仕事を切り出すか（市が提供する行政サービスを事例に検討）。
- ② 高齢者の就労を促進するために、どのような機能を備えたプラットフォームを構築していけば良いか。
- ③ 高齢者の就労意欲を高めるために、どのような取組が考えられるのか。

※「高齢者」の定義

- ・高年齢者雇用安定法による雇用確保措置
- ・高齢社会対策大綱（H30.2 月閣議決定）
- 主に 65 歳以上の高齢者の就労促進を想定

2. 提言 答申書 p4～

① 高齢者の就労機会の拡大（行政サービスにおける仕事の切り出しを事例に）

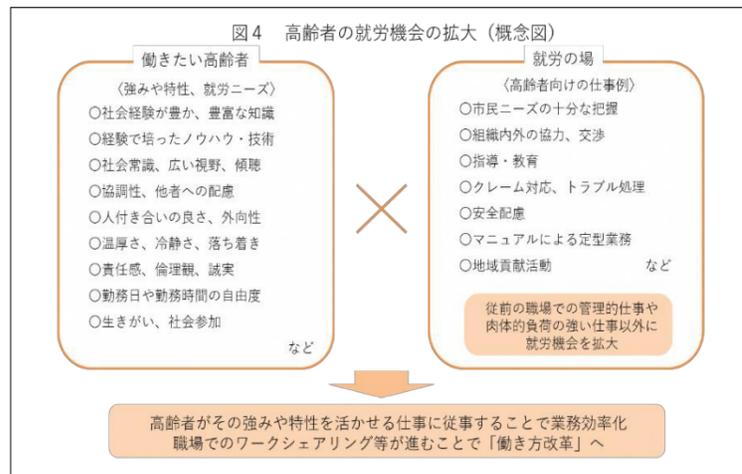
【仕事の切り出しの視点】

- 生活保護関連業務等を事例に整理した切り出しの視点
- ・高齢者の特性や経験に基づく知識・ノウハウ ・ICT 化
- ・仕事の明確化と業務の効率化 ・高齢者のやりがい・生きがい

【小括】

- ・広範な行政サービスで多種多様な仕事が切り出される可能性。（答申書 p8 図 4）
- ・高齢者とのワークシェアリングによる業務効率化も期待。

→ **市の業務を見直し、高齢者の個人差に応じた就労機会の拡大に繋がるような、様々な仕事を切り出していきたい。**



② 高齢者の就労促進に向けたプラットフォームに求められる機能とそのあり方

【プラットフォームに求められる機能】

- 就労の場づくりに向けた機能
 - ・・・民間企業等への求人開拓、企業向け公的支援制度の周知
- 働きたい高齢者に対する機能
 - ・・・様々な就労情報の提供と相談窓口、再就職の支援
- 双方を結びつける機能
 - ・・・求人、求職データベースの構築と人材マッチング、市内の各就労支援機関への紹介

【プラットフォームのあり方】

- ・市が主導的な役割を果たして、関係部局の連携の下で構築。
- ・運営は、民間企業との接点が多い機関への委託などが効果的。
- ・企業経営等の経験のある高齢者自身が従事することを想定。
- ・高齢者に開かれた形式で構築。その存在を広く周知しておく必要。
- ・業務改善アドバイス等の質的向上の工夫も必要。

【小括】

・「人生 100 年時代」を見据え、高齢者の就労ニーズがさらに多様化する可能性。プラットフォームの機能自体も変化が必要。

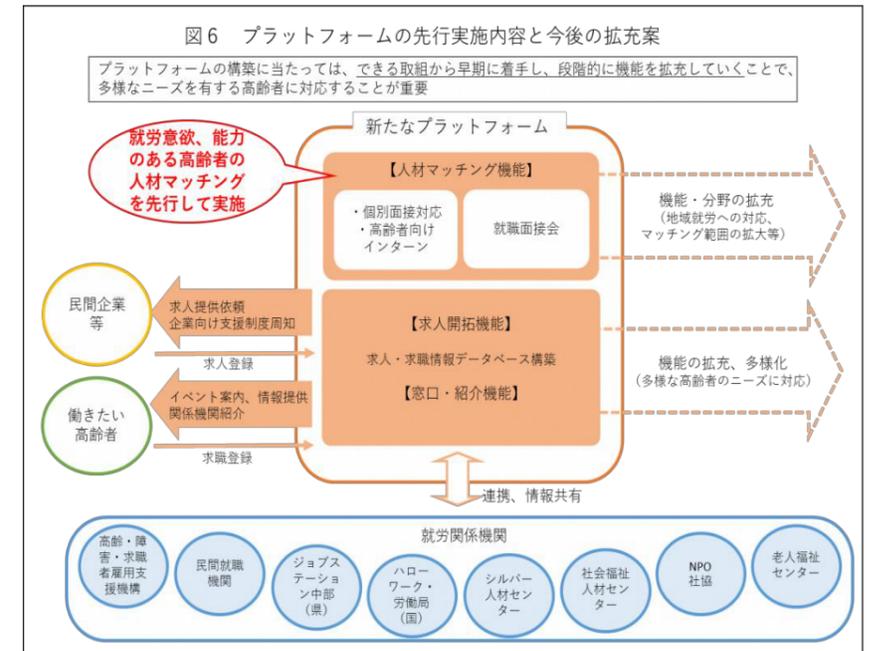
→ **実施可能な部分から早期に着手し、段階的に機能を追加するなど、中長期的な視点をもって取り組んでいただきたい。**

《具体例》

就労意欲や能力のある高齢者の人材マッチング等を先行実施（答申書 p15 図 6）

③ 高齢者の就労意欲の向上

- ・高齢社会対策大綱に基づく公的年金制度の見直し
- ・高齢者の就労による健康寿命の延伸
- ・高齢期の就労に繋がるリカレント教育の機会の増加
- 社会保障費の伸び抑制が期待されることから、**市独自の高齢者就労意欲向上施策の検討を進めていただきたい。**



3. 今後の取組に向けて 答申書 p21

- ・高齢者の就労促進に向けて、行政サービスにおいて多様な働き方を提供することは先鞭をつける取組になり、新たなプラットフォームの構築はその環境整備に欠かせない取組。
- ・高齢者の就労が進むことで、子育て施策の充実も可能となり、若者層に希望を抱かせ、住みたい魅力を増すことで、人口減少対策に資する取組ともなる。
- ・柔軟な働き方を志向する高齢者を受け入れる環境整備は、子育てや介護などと両立させて働きたい人など、あらゆる世代が働きやすい「働き方改革」にも寄与。

→ **高齢者の就労促進策に積極的に取り組んでもらい、健康寿命が長いなどの本市の強みを活かし、高齢者がそれぞれの経験や能力を活かして働き続けることができる、生き活きとしたまちの実現を目指していただきたい。**